

しまねのコト、原子力のコト

アトムの広場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION

NO.

123

2019.10



NEWS

- **特集** もし原子力災害が発生したら
- **[Q&A]** 原子力災害時の避難について

島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果

**2019年4月から6月まで
環境への影響は認められませんでした。**

令和元年度 第3回
原子力関連施設見学会 参加者募集

表紙写真：残したい島根の原風景シリーズ[No.10]：出雲平野の築地松

TOPICS

**福島県大熊町産の
イチゴが初出荷**

島根県原子力環境センター
の施設を360°見よう!

体験!VR

※スマートフォン、タブレット
端末でご覧ください。

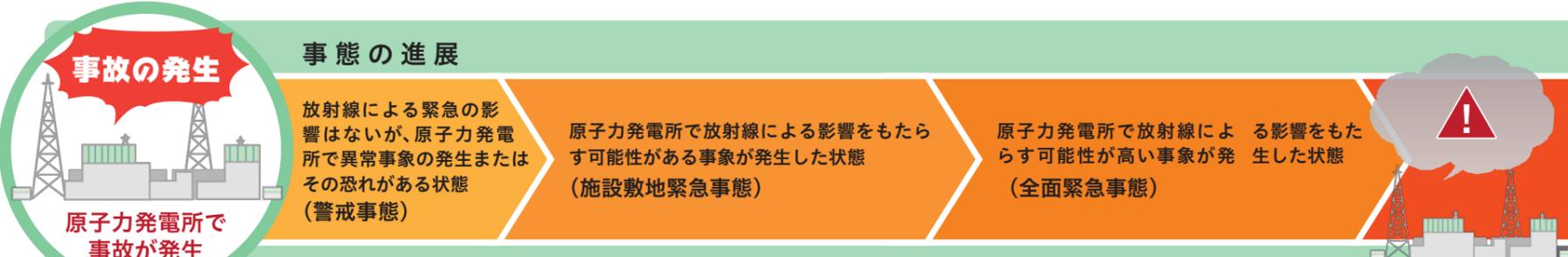


もし原子力災害が発生したら



もし原子力災害が発生したら、どのような行動をとればいいのか？
今回は原子力災害時の避難までの流れと、そのときとるべき行動について説明します。

原子力発電所で事故が発生した場合、まずは「情報収集」を心がけましょう。
その後、事態が進展すると原子力発電所からの距離に応じて「避難」「屋内退避」などの指示が
県や市から出されます。自分のいる場所が原子力発電所から何km圏内にあるか確認し、落ち
着いて行動しましょう。



原発から5km圏内

まずは情報収集



テレビやラジオ、防災無線などで正確な情報を入手しましょう。

！うわさやデマに惑わされない

インターネットやSNSの情報の中には、デマや誤った情報も紛れています。「ネットで多くの方が話題にしていた」「友人が知らせてくれた」このような場合でも、情報元を確かめ冷静に対応することが大切です。

災害情報は県・市町村のホームページや公式アカウントで掲載します。

■島根県原子力安全対策課ホームページ
<https://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>

■島根県公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/shimane.pref/>

避難準備

避難の準備を始めます。



持ち物は最小限に

社会福祉施設入所者など支援が必要で避難に通常以上の時間がかかる方

早い段階で避難または屋内退避を行います。

住民避難



原発から5km圏内の人は放射性物質が放出される前に避難します。

避難完了

原子力発電所から放射性物質が放出

屋内退避準備



自宅や職場、最寄りの公共施設の中に入りましょう。次の指示があるまで外出は控え、屋内で待機します。

屋内退避 (= 建物の中に入る) だけでも放射線の影響を低減することができます。

屋内退避時のポイント

- 外から帰ってきた人は着替えて顔や手を洗う
- 扉や窓を閉める
- 換気扇を止める
- ペットを家の中に入れる
- 食品にフタやラップをする
- エアコンは使用可能 ※外気導入型は止める

日頃から7日分の食料と飲料水を備えておこう

放射線量が基準値以上の地域

住民避難

放射性物質が放出されてから1週間程度のうちに避難を行います。



避難完了

放射線量が基準値未満の地域

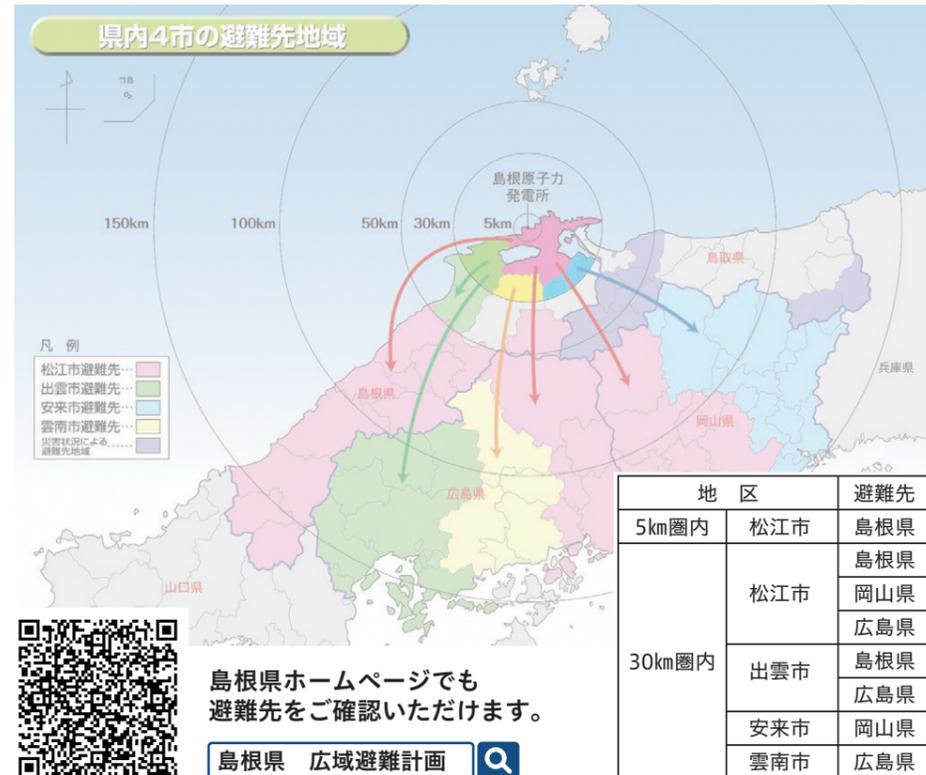
屋内退避の継続

屋内で次の指示を待ちましょう。



◆ 避難先を確認しておきましょう

県内4市の避難先地域



島根県ホームページでも避難先をご確認いただけます。

島根県 広域避難計画

環境放射線等調査結果 4月～6月

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

今期の調査結果を検討・評価したところ、**島根原子力発電所による影響は認められませんでした。**

01 空間放射線量率 2019年4月～6月

原子力発電所周辺の空間放射線量率を連続監視する装置で計測し、放射性物質が周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、**島根原子力発電所による影響は認められませんでした。**

Q. 放射線量率の通報の基準は？

A. 国が定めた通報基準値 5,000 μSv/h

安全協定通報基準値 **220** μSv/h

安全協定通報基準値(220_{nGy/h})を超えると、ただちに県は、上昇した原因を調査します。この値は平均値の概ね5倍ですが、人体へ影響を与えるレベルに比べてはるかに低い数値です。

平常の変動幅(上限値)
前年度までの2年間以上(5年間を上限とする)の全データを統計処理した範囲

単位: ナノグレイ/時(nGy/h)



※3ヶ月間の測定値における最高値と最低値を表記しています。 ※平均値(4～6月)は各月の平均値を平均したものです。

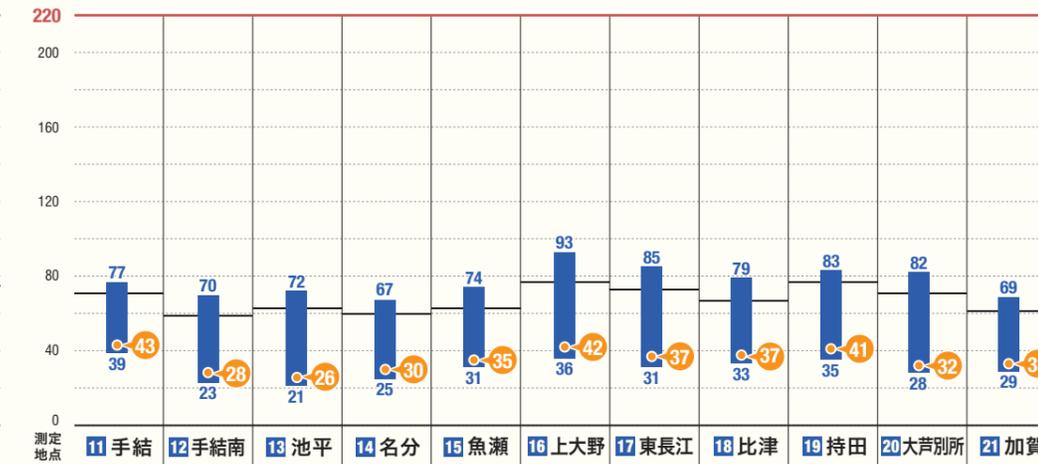
モニタリングポスト等配備図(イメージ図)凡例

■ 線量率の測定地点 [モニタリングポスト]

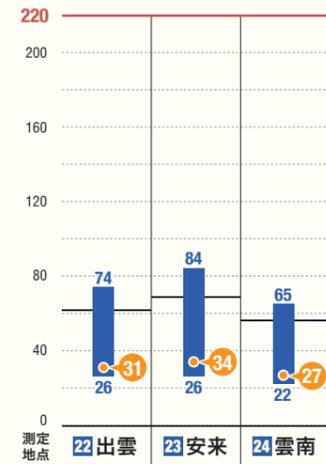


稼働状況
2019年6月末時点

- 1号機 廃止措置中
- 2号機 定期検査中
- 3号機 建設中



※測定地点の番号と名称は上記MAPと連動しています。



02 環境試料中の放射能 2019年4月～6月採取分

農畜産物、海産物、土壌、水、塵などに含まれる放射性物質の種類と量を測定しています。

平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であり、**島根原子力発電所による影響は認められませんでした。**

●分析結果

測定試料	単位	測定結果(セシウム137)	平常の変動幅
浮遊塵	μBq/m ³	検出されず	検出されず
池水	mBq/ℓ	検出されず	検出されず
水道原水	mBq/ℓ	検出されず	検出されず
松葉	Bq/kg(生)	0.03	検出されず～0.04
キャベツ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.01
茶	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.06
原乳	mBq/ℓ	検出されず	-
陸土	Bq/kg(乾物)	検出されず～1.5	検出されず～15.0
海水	mBq/ℓ	1.5～2.3	検出されず～2.4
海底土	Bq/kg(乾物)	検出されず	検出されず

測定試料	単位	測定結果(セシウム137)	平常の変動幅
かさご	Bq/kg(生)	0.09	0.06～0.12
さざえ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.04
あらめ	Bq/kg(生)	検出されず～0.06	検出されず～0.10
わかめ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず
ほんだわら類	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.08

※セシウム137以外の対象核種(22Mn, 54Fe, 60Co, 137Cs)については検出されませんでした。
※「平常の変動幅」は平成19年～22年度及び平成25年～30年度の10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)
※原乳は令和元年度から測定を開始したため、「平常の変動幅」は未設定。

測定試料	単位	測定結果(ヨウ素131)	平常の変動幅
松葉	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず
茶	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず
原乳	mBq/ℓ	検出されず	検出されず
わかめ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず
ほんだわら類	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず

測定試料	単位	測定結果(トリチウム)	平常の変動幅
海水	Bq/ℓ	検出されず	検出されず
陸水	Bq/ℓ	検出されず～0.41	検出されず～0.53

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

03 温排水調査結果 2019年4月～6月

島根原子力発電所から放出される、温排水の環境への影響を調査しています。

今期の調査結果を検討・評価したところ、**島根原子力発電所による影響は認められませんでした。**

期間中、1～3号機とも原子炉の稼働に伴う温排水の放出はありませんが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

空間放射線量率測定(常時) → モニタリングポスト 2分毎の観測データを送信 → 島根県原子力環境センター 24時間連続監視

情報は、原子力安全対策課 ホームページでリアルタイムに県民の皆さんへ公開しています。

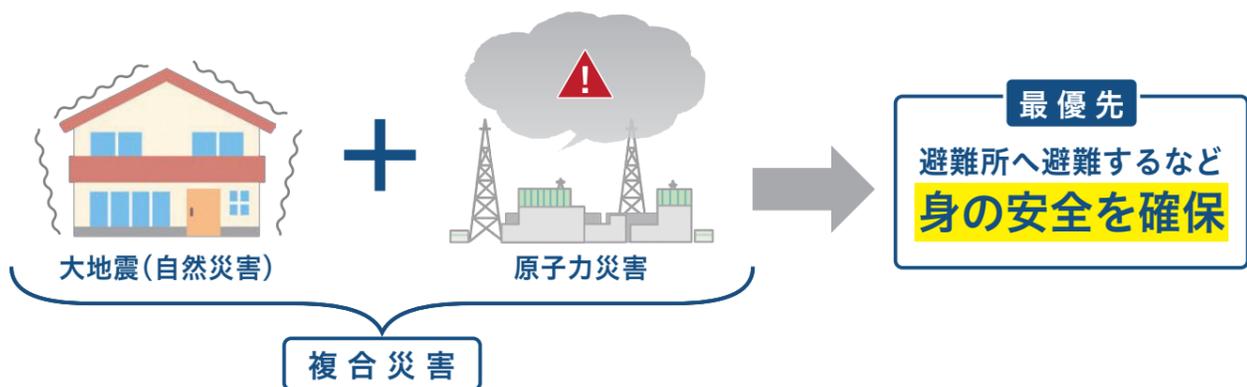
? 雨や雪が降ると、なぜ空間放射線量が増える?
大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えていき、しばらくすると元の値に戻ります。



今回は、原子力災害時の避難についてです。

Q. 大地震などの自然災害と原子力災害が、万が一同時に発生したときは、どのような避難行動をとればいいのか？

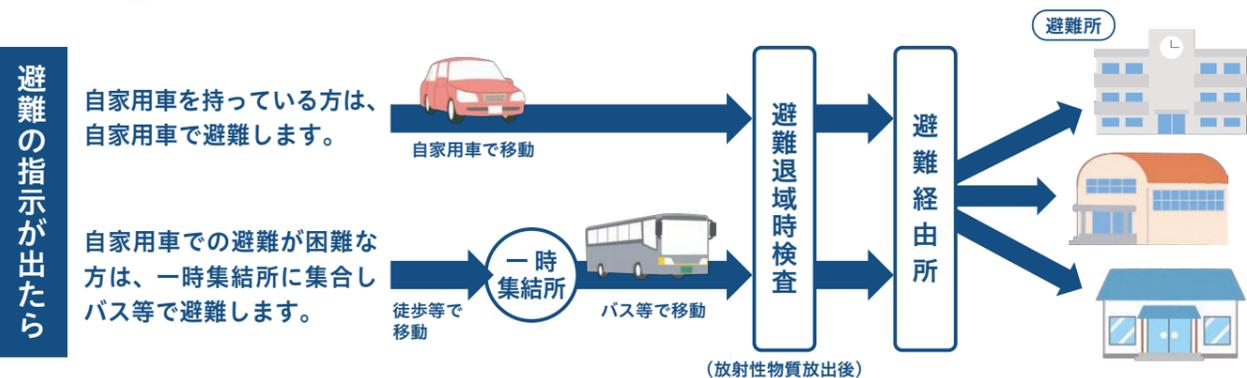
A. まずは、**身の安全の確保を最優先**にした行動をとることが大切です。
例えば、原子力災害が起きたため「屋内退避」の指示が出ていたとしても、地震による家屋崩壊の恐れや津波の恐れがある場合は、最寄りの避難所に避難して身の安全を確保しましょう。
それから必要に応じて「屋内退避」などを実施し、原子力災害に備えましょう。



Q. 自家用車を持っていない人は、遠くの避難先までどうやって行けばいいのか？

A. 自家用車での避難が困難な方は、県などが手配する**バス等で避難**を行います。バス等は一時集結所に手配されますので、避難の指示が出たときは、**市が指定している最寄りの一時集結所へ行きましょう。**

島根県は緊急時における避難手段を確保するため、平成29年4月に中国5県のバス協会と「原子力災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」を締結しています。



丸山知事が福島県内を視察しました

丸山知事は、福島県を訪問し、福島第一原発事故の発生の状況やその後の混乱した中での避難の状況、復興の状況などを直接確認しました。島根県として、今回の視察で得た教訓などについて、今後の原子力安全対策や防災対策に生かしていきます。

8月21日 廃炉資料館、福島第一原子力発電所を視察

富岡町にある東京電力廃炉資料館で、原発事故の進展などを解説した映像などを見た後、福島第一原子力発電所(大熊町、双葉町)に向かい、原子炉建屋の状況や免震重要棟の内部などを視察しました。



福島第一原子力発電所視察の様子

8月22日 ふたば医療センター、大熊町、環境創造センターを視察

富岡町にある福島県ふたば医療センターを視察し、谷川センター長から原発事故当時、双葉郡内に入院していた患者が、避難先での治療など十分な体制が整わないまま、急いで避難することを余儀なくされたことで、命を落とした事例があったことなどについてお話を伺いました。



大熊町役場での意見交換の様子

大熊町では、立入りが制限されている帰還困難区域内の状況や避難指示が解除された区域に整備された帰還者用の復興住宅を視察した後、渡辺町長から原発事故当時、情報がなかった中での住民避難がいかに大変であったか、また、農業生産の再開など復興に向けた取組が着実に進んでいる様子についてお話を伺いました。

また、福島の実況や放射線・環境問題について体験型の展示などで学ぶことができる福島県環境創造センター(三春町)を視察しました。



内堀知事との懇談の様子

8月23日 福島県庁を訪問

福島県の内堀知事を訪問し、内堀知事から原発事故当時、副知事としてオフサイトセンターで指揮した自身の経験として、通信が繋がらない状況での対応に困難を極めたこと、また、その教訓から通信手段の強化を図ったことなどのお話を伺いました。



令和元年度島根県原子力防災訓練を実施します

原発に万が一の事態が生じた場合に備えて、国・島根県・鳥取県と関係6市が一体となって、住民の皆さんが安全かつ円滑に避難できるように避難対策をはじめとする原子力防災対策の強化に努めています。

こうした中、住民の方々への防災対策の周知、防災関係者の連携や技術の習熟などを目的として、関係機関が連携し、毎年、原子力防災訓練を実施しています。



昨年の訓練の様子

今年度の訓練は

11月上旬に実施予定(国・島根県 合同)

お知らせ

INFO

令和元年度 第3回

参加無料 昼食付き

参加者募集

お試しLVR
できます



360°バーチャル体験で島根県原子力環境センターの施設を見てみよう!



※スマートフォン、タブレット端末でご覧ください。

原子力関連施設見学会

島根県では、原子力発電についての正しい知識と、県が実施している環境放射線モニタリング等の安全対策や防災対策などについて皆さんに知っていただくため、住民の方を対象とした原子力関連施設見学会を開催します。

●開催日時 **令和元年12月13日(金)**

9:00~16:00 (集合時間 8:40~9:00)

●応募先 **島根県 原子力安全対策課 見学会担当**

※ページ下の連絡先までご応募ください。

●応募締切 **令和元年11月27日(水)必着**

なお、応募締切後、参加決定の文書を郵送します。

●募集人員 **50名**

●集合場所 **島根県原子力防災センター(オフサイトセンター)**

島根県立図書館 南側

●応募方法

◎参加を希望されるすべての方の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、本人確認書類の種類(以下参照)を記載のうえ、ハガキや電話、FAX、メールにてご応募ください。

【本人確認書類】①運転免許証 ②パスポート ③写真付きマイナンバーカード ④次の公的書類2種類 A:住民票(6ヵ月以内) B:健康保険証 C:年金手帳(例:住民票+健康保険証)

※電話の受付は、平日の9時~17時です。また、応募内容の個人情報、見学会の目的外に使用することはありません。

●注意事項

◎参加費は無料です。(集合場所までの交通費は参加者負担になります。)

また、集合場所にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

◎昼食は県で用意し、移動は貸切バスです。

◎小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。

見学会

(松江市内中原町)
島根県原子力防災センター



- 島根県の原子力安全・防災対策等について説明
- 緊急事態対応施設等の見学

(松江市内西浜佐陀町)
島根県原子力環境センター



- 原子力環境センター紹介
- 放射線測定体験
- 分析機器など施設見学

(松江市内鹿島町片倉)
島根原子力発電所



- 概要説明
- 運転訓練シミュレータ見学
- 原子力発電所構内見学(バス車内から)

※発電所建物内部には入れません。

※各施設における説明内容等は変更になる場合があります。

TOPICS

ATOMIC TOPICS 全国の原子力関係の気になる話題をご紹介します

福島県大熊町産のイチゴが初出荷

福島県大熊町は、廃炉作業中の福島第一原子力発電所が立地する町です。町内は現在も立ち上がりが制限されている区域が多くを占めますが、今年4月には一部地域で避難指示が解除され、役場の新庁舎も完成しました。6月には帰還希望者用の災害公営住宅への入居もスタートしています。

そんな大熊町に4月、植工場「ネクサスファームおおくま」が完成しました。従業員は県内出身者が中心となっており、町の復興を広く伝えると同時に、住民が帰還した際の雇用の場となることを目的としています。

ネクサスファームおおくまは、土を使わず、棚の上で培

養液を用いてイチゴを育てる「高設養液栽培」に取り組んでいます。イチゴの苗が入るポットにはヤシガラやゼオライトがブレンドされた土が使用され、また、完全屋内栽培で、温度や湿度、光やCO₂などの環境はすべてコンピュータで制御されています。収穫時期の異なる6品種を通年栽

培予定で、8月には「すずあかね」の初出荷が始まりました。

自身も被災者である従業員は「出荷をとおして大熊の復興を肌で感じることができると、初出荷の感動を語っています。

アトムの広場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION 2019.10

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、島根県原子力安全対策課までお寄せください。

表紙写真 PHOTO GALLERY

残したい島根の原風景

出雲平野の築地松(ついでまつ)

出雲平野に見られる独特の防風林。斐伊川の氾濫に備えた盛土の補強のため、獲せた土地にも耐え強風にも強い黒松が植えられた。強風や西日を遮るため、北と西の二面に設けられることが多い。「陰手狩り」という専門の庭師によって手入れされ、大切に受け継がれている。



編集・発行

島根県 防災部
原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL (0852)22-6303(代表) FAX (0852)22-5600
TEL (0852)22-6590(見学会担当)
URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>
E-mail gen-an@pref.shimane.lg.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この印刷物は環境に優しいベジタブルインキを使用しています。